

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 192 | 58.3 | △394 | — | △427 | — | △1,333 | — |
| 28年12月期第3四半期 | 121 | — | △212 | — | △225 | — | △188 | — |

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 △1,366百万円 (—%) 28年12月期第3四半期 △226百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | △51.19 | — |
| 28年12月期第3四半期 | △7.82 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 3,085 | 2,337 | 72.2 |
| 28年12月期 | 2,912 | 2,877 | 93.5 |

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,229百万円 28年12月期 2,722百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年12月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|-------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 380 | 126.2 | △680 | — | △720 | — | △1,670 | — | △64.35 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年12月期3Q | 26,258,400株 | 28年12月期 | 24,758,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | －株 | 28年12月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年12月期3Q | 26,054,279株 | 28年12月期3Q | 24,058,582株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の金融政策やアジア金融市場の不安定化リスクが国内経済に影響を及ぼす懸念は強く、先行き不透明な状態が継続しております。

国内医薬品業界におきましては、医療費抑制政策による後発医薬品への切り替えや高額医薬品の薬価引き下げの影響等から、市場規模の拡大ペースは鈍化しております。

このような状況の下、当社グループは新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品につきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社（以下、「興和」）により、「グラナテック®点眼液0.4%（一般名：リバスジル塩酸塩水和物、開発コード：K-115）（以下、「グラナテック」）」が緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されており、販売状況は順調に推移しております。また、ライセンスアウト先のみかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」）により、「WP-1303（H-1129）」の緑内障・高眼圧症を適応症とした国内後期第Ⅱ相臨床試験が開始され、第3四半期会計期間にマイルストーンを受領いたしました。当社においては、「H-1337」の緑内障を適応症とした非臨床試験を進めました。さらに、2月に「H-1129」の緑内障等を対象に、日本を除く全世界の権利を付与するオプション契約を国内の医薬品事業会社と締結いたしました。

導入品につきましては、1月に株式会社ヘリオスより、BBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業を譲り受ける契約を締結し、4月に当社への譲り受けが完了いたしました（当社開発コード「DW-1002」）。既に上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、市場：欧州、適応症：内境界膜剥離、ライセンスアウト先：Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」））につきましては、譲受日以降、当社はDORCより売上高に係るロイヤリティを受領しております。また、10月には日本の白内障手術時の水晶体前嚢染色を対象として、九州大学病院が主体となり全国7医療機関で実施する医師主導治験（国内第Ⅲ相臨床試験）が開始されております。

研究開発プロジェクトにつきましては、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおいて、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行いました。その中で、適応拡大の取組みとして、7月に医薬品事業会社と「H-1129」の再生医療への応用に関する共同研究契約を締結、9月に国立大学法人千葉大学と「H-1337」の肺高血圧症に関する共同研究契約を締結することを決議し、その後、研究活動を進めております。また、子会社日本革新創薬株式会社（以下、「JIT」）は、2月に株式会社アイ・エヌ・アイが出願中の神経変性抑制剤に関する特許の下、眼科領域の実施許諾を受ける契約を締結いたしました。

売上高につきましては、「グラナテック」、「DW-1002」のロイヤリティ収入等により合計192百万円（前年同期比58.3%増）を計上し、売上原価に4百万円を計上しました。

販売費及び一般管理費につきましては、582百万円（前年同期比74.7%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」の非臨床試験費用の増加等により368百万円（前年同期比172.3%増）、その他販売費及び一般管理費が支払手数料、租税公課及び旅費交通費の増加等により213百万円（前年同期比8.0%増）です。

これらにより、営業損失は394百万円（前年同期営業損失212百万円）となりました。営業外費用に支払手数料18百万円及び為替相場の変動による為替差損10百万円を計上したこと等の結果、経常損失は427百万円（前年同期経常損失225百万円）となりました。特別利益に投資有価証券売却益101百万円、特別損失に減損損失1,040百万円を計上したこと等の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,333百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失188百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) 自社創製品

| 開発コード等 | 対象疾患 | 開発段階 | 地域 | ライセンスアウト先／開発コード |
|--------|----------|-----------|----|-----------------|
| グラナテック | 緑内障・高眼圧症 | 上市 | 日本 | 興和／K-115 |
| H-1129 | 緑内障・高眼圧症 | 後期第Ⅱ相臨床試験 | 日本 | わかもと製薬／WP-1303 |
| | 緑内障 | — | 海外 | 未定（注1） |
| H-1337 | 緑内障 | 非臨床試験 | 米国 | 自社開発 |

| 開発コード等 | 対象疾患 | 開発段階 | 地域 | ライセンスアウト先／開発コード |
|-----------|------|------|----|-----------------|
| K-134（注2） | — | — | 日本 | 興和／K-134 |

（注1）H-1129の海外の権利は、国内医薬品事業会社がオプション権を有しており、現在評価中です。

（注2）ライセンスアウト先の興和により、閉塞性動脈硬化症以外の適応症への応用を検討されているため、対象疾患と開発段階は記載しておりません。

（ロ）導入品

| 開発コード等 | 対象疾患 | 開発段階 | 地域 | ライセンスアウト先／ 開発コード | 起源 |
|-----------|---------|-----------------|----|---------------------|------------------|
| DW-1002 | 内境界膜剥離 | 上市 | 欧州 | DORC | 国立大学法人 九州大学 |
| | 内境界膜剥離 | 第Ⅲ相臨床試験 | 米国 | DORC | |
| | 内境界膜染色 | 第Ⅲ相臨床試験 | 日本 | わかもと製薬 ／WP-1108 | |
| | 白内障手術 | 第Ⅲ相臨床試験 （注3） | 日本 | 未定 | |
| 眼科用鎮痛剤 | 眼の手術後疼痛 | 臨床試験準備中 | 日本 | 自社開発 | 英国企業 |
| 未熟児網膜症治療薬 | 未熟児網膜症 | 臨床試験準備中 | 日本 | JIT開発 | 国立大学法人 東京農工大学 |

（注3）九州大学病院にて医師主導治験が行われております。

（ハ）研究開発プロジェクト

| 開発コード等 | 対象とする疾患等 | 開発段階 |
|-------------------|----------------------|------|
| シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト | 眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患 | 基礎研究 |

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から172百万円増加し、3,085百万円となりました。主な要因は、流動資産のその他が344百万円及び「DW-1002」の事業譲受により契約関連無形資産が339百万円増加した一方で、現金及び預金が112百万円、有価証券が341百万円及び投資その他の資産が99百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第3四半期連結会計期間末88.0%、前連結会計年度末95.3%です。

負債は、前連結会計年度末から712百万円増加し、748百万円となりました。主な要因は、長期借入金600百万円及び未払金が113百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末から540百万円減少し、2,337百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が1,333百万円減少した一方で、行使価額修正条項付第9回新株予約権の権利行使により、資本金が420百万円、資本準備金が420百万円増加したこと等によるものです。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第3四半期連結会計期間末75.7%、前連結会計年度末98.8%です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年7月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|--------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,291,934 | 2,179,731 |
| 売掛金 | 41,354 | 91,261 |
| 有価証券 | 353,089 | 11,273 |
| その他 | 95,787 | 440,131 |
| 貸倒引当金 | △5,824 | △5,824 |
| 流動資産合計 | 2,776,341 | 2,716,572 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 25,097 | 17,977 |
| 無形固定資産 | | |
| 契約関連無形資産 | — | 339,428 |
| その他 | 1,383 | 1,343 |
| 無形固定資産合計 | 1,383 | 340,771 |
| 投資その他の資産 | 109,972 | 10,198 |
| 固定資産合計 | 136,453 | 368,948 |
| 資産合計 | 2,912,795 | 3,085,521 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 9,653 | 122,729 |
| 未払法人税等 | 12,539 | 12,511 |
| その他 | 13,341 | 13,040 |
| 流動負債合計 | 35,534 | 148,280 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 600,000 |
| 固定負債合計 | — | 600,000 |
| 負債合計 | 35,534 | 748,280 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,945,154 | 3,365,279 |
| 資本剰余金 | 2,934,528 | 3,354,653 |
| 利益剰余金 | △3,157,132 | △4,490,856 |
| 株主資本合計 | 2,722,550 | 2,229,076 |
| 新株予約権 | 15,615 | 1,657 |
| 非支配株主持分 | 139,094 | 106,505 |
| 純資産合計 | 2,877,260 | 2,337,240 |
| 負債純資産合計 | 2,912,795 | 3,085,521 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 121,731 | 192,649 |
| 売上原価 | 1,485 | 4,556 |
| 売上総利益 | 120,246 | 188,092 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 135,387 | 368,639 |
| その他 | 197,752 | 213,501 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 333,139 | 582,140 |
| 営業損失(△) | △212,893 | △394,048 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,348 | 603 |
| 補助金収入 | — | 367 |
| その他 | 244 | 0 |
| 営業外収益合計 | 1,593 | 971 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 3,814 |
| 為替差損 | 10,103 | 10,112 |
| 支払手数料 | — | 18,000 |
| その他 | 4,180 | 2,990 |
| 営業外費用合計 | 14,284 | 34,917 |
| 経常損失(△) | △225,584 | △427,993 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 101,403 |
| 新株予約権戻入益 | — | 1,657 |
| 特別利益合計 | — | 103,060 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 1,040,000 |
| 特別損失合計 | — | 1,040,000 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △225,584 | △1,364,932 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,299 | 1,379 |
| 法人税等合計 | 1,299 | 1,379 |
| 四半期純損失(△) | △226,883 | △1,366,312 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △38,742 | △32,589 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △188,140 | △1,333,723 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △226,883 | △1,366,312 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4 | — |
| その他の包括利益合計 | 4 | — |
| 四半期包括利益 | △226,879 | △1,366,312 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △188,136 | △1,333,723 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △38,742 | △32,589 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 12,282千円 | 30,970千円 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、クレディ・スイス証券株式会社が保有する行使価額修正条項付第9回新株予約権の一部について権利行使が行われております。当該新株予約権の権利行使の概要は以下のとおりであります。

①発行した株式の種類及び数 普通株式 1,500,000株

②発行価額の総額 827,950千円

※この結果、新株予約権の振替額12,300千円を含め、資本金が420,125千円、資本準備金が420,125千円増加いたしました。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。